

JIMTEF 災害医療研修アドバンスコース

日時 : 第3回 平成27年12月23日(水)

第4回 平成28年2月21日(日)

場所 : JICA 東京

主催 : 公益財団法人 国際医療技術財団 (JIMTEF/ジムテフ)

研修目標 : 災害時に医療救護チームと各職種が発揮する専門性を知ってより実践的な多職種連携が可能となる

参加者(数字は人数)

都道府県別 : 全国各地より参加

団体別 : 柔道整復師、鍼灸師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、臨床衛生検査技師、栄養士、救急救命士 各回 50名程度

プログラム : 講義 国際人道支援に学ぶ支援方策 スフィアプロジェクト
人道支援の実際 災害医療コーディネーター
災害対策本部運営と記録

演習 : 災害対策本部運営実習 他職種連携(グループディスカッション)

課題と感想 :

- ・各所属団体にて災害対策本部、災害対策委員会の枠組みは構築されてきている。今後はその中で団体間における他職種連携の可能性を探っていく必要がある。
- ・ベーシックコースでは、災害リハにおける「コーディネーター」や「リーダー」、「災害支援スタッフ」などの養成が主であったが、アドバンスコースでは、災害時における実践的な本部運営を実習形式で、役割をその都度変えながら繰り返し実施した。
- ・当会においても「災害医療」における共通認識・共通言語を浸透させながら所屬地域の職種間連携や行政との連携を進めること、神奈川県士会災害対策委員会としても継続して研修会やキャラバンを開催していくことの必要性を改めて感じた。

※反省点、課題としては、災害リハチームに特化した場合、各職種毎の専門性について認識がまだまだ不足している。また医療救護チームとしてもその認識・情報が不足していると感じた。情報交換や交流の場、共通した研修の場が少ない事も問題点と考える。その為、リハビリテーション領域では JRAT は組織されたものの、県士会間や協会と士会との連携、DMAT や医療救護チームとの実効性のある協業・連携も具体的ではない事が一番の課題であると感じた。

平成28年3月4日

文責 : (公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 下田 栄次、松田 梓